

# G7デジタル・技術大臣会合について

---

デジタル空間における情報流通の諸課題への対処に関する検討会  
青少年保護ワーキンググループ(第5回)

令和 8 年 6 月

- 2026年6月15日から17日の「G7サミット」（於：フランス・エヴィアン）に先立ち、5月29日に「G7デジタル・技術大臣会合」（於：フランス・パリ）が開催。
- 同会合で発出された「**G7デジタル・技術閣僚宣言**」、「**青少年のためのより安全・安心なデジタル空間を定義するG7共通原則**」の概要は、以下のとおり。

## 1. G7デジタル・技術閣僚宣言

トピック	主な内容
①安全なAIの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>広島AIプロセス（HAIP）報告枠組みの改訂版を称賛し、HAIPを重要なマルチステークホルダー・プラットフォームと認識する。HAIPフレンズグループの開発途上国へのさらなる拡大及びアクションプランを歓迎する。</b></li> <li>● AIリスク評価フレームワークの相互理解や比較可能性の向上等のための多様なステークホルダーによる議論を開始する。</li> <li>● 「<b>AI生成合成コンテンツメタディテクター</b>※<sup>1</sup>」の機能強化への寄与も含め、合成コンテンツの検知に関し専門家の議論を継続する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">※1 2025年2月フランスAIアクションサミットにてフランスが立ち上げ・オープンソース化</p>
②経済成長のためのAI導入の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● AIのオープン性はAIの普及に寄与するものの、その曖昧さがAIの信頼を損ない導入を弱める可能性があることに鑑み、<b>AIのオープン性に関する用語の明確化</b>を図る「<b>AIのオープン性に関する機会と共通言語に関する我々のビジョン</b>※<sup>2</sup>」に期待する。</li> <li>● OECDの協力により開発した「<b>G7 中小企業AI導入準備度ツール</b>」を企業に提供する。</li> </ul>
③デジタル分野の強靭性と資源効率の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「<b>デジタル分野におけるレジリエンス及び資源効率の向上に資する取組の国際的な概観</b>※<sup>3</sup>」に関する議長国フランスの努力を認識する。</li> <li>● エネルギー分野での知識とベストプラクティス共有の初期の取組の一環として、仏国Inria（国立情報学自動制御研究所）が主導してまとめた政策文書「<b>エージェントAI：導入、普及及び影響</b>」※<sup>3</sup>に留意する。</li> </ul>
④青少年のためのより安全・安心なデジタル空間の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 青少年の身体的、精神的、認知的な健康と発達を保護するため「<b>青少年のためのより安全・安心なデジタル空間を定義するG7共通原則</b>」を支持する。</li> <li>● 青少年が利用する<b>デジタルサービスに関する科学的知見・評価を強化するための科学的イニシアティブ</b>の構築に向けた議論を議長国フランスが主導していく。</li> </ul>

※2 「G7デジタル・技術閣僚宣言」、「青少年のためのより安全・安心なデジタル空間を定義するG7共通原則」とともに成果文書の一つとして発出 ※3 議長国文書

## 2. 「青少年のためのより安全・安心なデジタル空間を定義するG7共通原則」

### 原則 1

- 年齢確認は、青少年に年齢に適した体験を提供するために不可欠である。

### 原則 2

- セーフティー・バイ・デザインのアプローチにより、青少年をオンライン上の危害から守る。

### 原則 3

- 児童性的虐待コンテンツ及び同意に基づかない私的な画像の製造等は、防止されなければならない。

### 原則 4

- ペアレンタルコントロール・ツールが利用できるようにすべき。

### 原則 5

- デジタル技術やメディアのリスクを認識し、オンライン上での健全な成長を促すため、情報リテラシー等を強化すべき。

### 原則 6

- 青少年の安全は、リスクの管理・評価・低減の実施等により確保する。

### 原則 7

- 青少年のためのより安全で安心なデジタル空間の構築は、デジタルサービス提供者と関連ステークホルダーとの協力によって実現される。